

第53回 勉強会のご案内

テーマ：「ベトナム最北端の少数民族集落で、古民家カフェバズる!!」

- 瞬く間に観光村に様変わりした理由とは -

講師：小倉 靖さん

今回は、旧ハザン省(現トゥエンクアン省)最北端の少数民族の村で、伝統文化と雄大なカルストの自然景観保護による村おこしに取り組んでいる小倉 靖さんにお話を伺います。

<概要>

10 年前、少数民族口口族の伝統家屋である土壁古民家と伝統文化に魅せられ、この地での村おこしを決意し古民家カフェを立ち上げました。急速な経済発展と生活の近代化により、伝統家屋は次々と壊されていきます。そんな中、伝統家屋をカフェに改装し、住民が観光収入を得られるようにすることが、古民家を維持できる最善の方法と考えました。

このカフェ立ち上げが村おこしのきっかけとなり、その後のベトナム国内の観光ブームにもあやかり、口口族集落は、いまではベトナム北部の有数な観光コミュニティに変貌を遂げました。現在は、別の少数民族であるモン族集落において、古民家、田畑を含めた彼らの生活空間全体と周囲の自然景観を一体化させた自然公園「リビング・ミュージアム」構想にむけて、四苦八苦しています。

<小倉 靖さんのプロフィール・ベトナムとのかかわり>

1957 年 北海道夕張市生まれ

1981 年 東京理科大学工学部経営工学科卒

会計事務所勤務の後、(株)紀文食品に入社(主に管理部門)

1995 年: 初めてベトナムに旅行し、その活気と人々のフレンドリーさに魅せられる

1999 年: 初めて北部山間部の少数民族エリアを訪れ、その民族の多様性に驚愕。以後、会社員生活の傍ら、毎年一度、ベトナムを訪問

2013 年 少数民族エリアで、何らかの支援活動をしたいたの思いから、紀文食品を早期退職(56 歳)。以来、日本とベトナムをほぼ半々の 2 拠点生活

2015 年: トゥエンクアン省ルンクー村にて住民に資金援助し、Cafe Cuc Bac をオープン以降、伝統景観を守ることの大切さ、魅力ある観光コミュニティ作りについてアドバイスを続けている



Cafe Cuc Bac

- 日時：2026 年 1 月 30 日(金) 7-8:30pm
- 会場：対面&on-line、会場は下記住所(定員 9 名)
- 参加費:700 円…オンラインは peatix 又は銀行振込

- ・ Peatix: <https://avenuebenkyo53.peatix.com> (右 QR コード)
- ・ 銀行振込: 振込口座をお知らせ→入金確認後 URL 送付



NPO AVENUE

〒102-0072 千代田区飯田橋 2-9-6 東西館ビル本館 3 階 35 号 電話 03-6272-9164
avenue8481@gmail.com <https://sites.google.com/site/avenue091204/>